

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	学外実習Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0062		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学分野		対象学年	4		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	学外実習の手引き					
担当教員	大槻 典行					
到達目標						
実習活動を通じて、社会人としての倫理・マナー・規律、さらに、協調性と コミュニケーション能力を身につけ、実習内容の報告、発表ができる。 本校教育目標：B:90% F:10%、 JABEE教育目標：d4:90% f:10%						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	実習先でスケジュールに従い積極性を伴い意欲的に実習に取り組むことができる。		実習先で決められたスケジュールに従い実習に取り組むことができる。		実習先で決められたスケジュールに従い実習に取り組むことができない。	
評価項目2	学外実習の日報および報告書が学外実習の目的・意義に沿った内容で書き提出することができる。		学外実習の日報および報告書が必要十分な内容で書き提出することができる。		学外実習の日報および報告書が提出することができない。	
評価項目3	学外実習の目的・意義を理解した上での実習内容とその成果を報告会で発表できる。		学外実習の目的および実習内容とその成果を報告会で発表できる。		実習内容とその成果を報告会で発表できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	学外の企業等で5日間以上、60時間以上の実習を行う。実習活動を通じて、社会人としての倫理・マナー・規律、さらに、協調性とコミュニケーション能力を身につけ、また、技術者としての自己を確立する動機付けとする。 実習日誌と実習報告書を提出し、専門分野で実施される報告会で報告する。 なお、企業での実習は、長期休業中に行う。					
授業の進め方・方法	履修方法や注意事項などについてガイダンスを受けた後、実習を行う企業等を決定し、長期休業期間中に実習を行う。 その後、実習報告書を作成し、専門分野で実施される報告会で報告する。 ・実習遂行への配点60点：報告書の提出、報告を行なったことに対する配点。 ・実習成果への配点40点：20点を基準として、報告内容に応じて+20点の範囲で配点する。 60点以上を合格とする。					
注意点	企業等の協力があって初めて成り立っている科目です。履修に当たってお世話して下さい 企業等の方への礼儀や感謝の念を忘れないようにしましょう。 この実習で得た体験をなんとしても役立ててやるという姿勢が必要です。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	事前指導 1		この科目の履修方法や注意事項が分かる。	
		2週	事前指導 2		学外実習に携わる上でのマナー、心構え、取り組み方が理解できる。	
		3週	実習企業等の決定		学生の希望を元に事務局と担任の打ち合わせにより配属を決定することができる。	
		4週	企業等担当者との連絡		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に担任の指導下で企業等と連絡を取り、有意義な実習ができるよう準備できる。	
		5週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
		6週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
		7週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
		8週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
	2ndQ	9週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
		10週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	
		11週	企業等での実習		・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。	

		12週	企業等での実習	・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。
		13週	企業等での実習	・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。
		14週	企業等での実習	・企業等内の実習指導者の指示に基づいて各種実習を体験する事が出来る。 ・日々の実習結果をその日の内に実習日誌に記載し、指導者に報告することができる。
		15週	学外実習報告書の作成	実習報告書を作成し、報告書を担任に提出することができる。
		16週	学外実習報告会で発表	専門分野内での報告会で報告することができる。
	後期	3rdQ	1週	
			2週	
			3週	
			4週	
			5週	
			6週	
			7週	
			8週	
		4thQ	9週	
			10週	
			11週	
			12週	
			13週	
			14週	
			15週	
			16週	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	100	0	100	